

かわらばん



発行日 平成29年1月1日 発行者 福山市西南部地域包括支援センター（福山市南松永町2丁目8-12）

あけましておめでとうございます 今年もよろしくお願ひします

西南部地域包括支援センターが発足して11回目の歳を迎える事が出来ました。ひとえに皆様のおかげだと、スタッフ一同お礼申し上げます。

私自身が西南部地域包括支援センターの管理者を務めさせていただき10年目の節目の歳でもあります。この10年間を振り返り、この地域包括支援センターも大きく成長したと思います。平成18年4月に発足し、当時9名でスタートしました。この10年間で地域包括支援センターの役割や使命が大きくなる中、気が付けばスタッフ数も19名となりました。



平成27年度からは『多職種連携の会』という地域の代表の方々をはじめ、医師や病院関係者・介護事業関係者・行政等様々な立場の方々との顔の見える関係づくりのもと始めた取組みもあります。この取組みは今後おとずれる社会に向けた取組みです。医療や介護のスタッフだけではその社会を乗り越えることは難しいと予測されており、地域住民には地域住民の、行政には行政の、医療介護従事者には従事者のそれぞれが役割を担い、高齢者になっても住み慣れた

地域で尊厳を持って生活が継続できるように地域づくりの第一歩と思い、私たちはお手伝いが出来たらと思っています。10年後、20年後、この福山西部・南部に住んでいて良かったと思えるものにしたいと思いますので、今後ともご協力をお願いしたいと思います。（管理者：茨木孝幸）

認知症講演会を開催しました



平成28年10月22日、松山内科の松山善次郎先生を講師にお招きし、西部市民センターにて認知症講演会を開催しました。

松山先生は平成27年10月より始まった福山市認知症支援施策の認知症初期集中支援チームの一員として、西南部地域包括支援センターの保健師・松岡、社会福祉士・甲斐と共に活動をしています。今回の講演会は「認知症高齢者の初期支援」をテーマに、認知症の基礎知識に加えて、認知症初期集中支援チームの活動報告や実際に対応した事例についての紹介を行いました。

認知症は現在の医療では治すことは難しいですが、適切な治療を受けることで進行を遅らせることができます。そのため、なるべく早い段階で治療へ繋げることが重要となります。

皆さんに認知症という病気のことを知ってもらい、認知症になっても住み慣れた地域で生活が続けられるよう、今後も認知症についての研修会を開催できればと考えています。



認知症地域支援推進員だより ~冬~



あけましておめでとうございます。認知症地域支援推進員として2回目の新年を迎えた河野です。

昨年、西は本郷地区から南は内海地区まで、いろいろな地域に出向き認知症に関する出前講座を行いました。ご参加くださった皆様、どうもありがとうございました。その中で一番感じた事は、皆さんの認知症への関心の高さです。そして、2025年に認知症の人が5人に1人となる時代がやってくると厚生労働省が推計している、そこに向け地域の皆さんが予防や認知症の方への対応の仕方などを学んでおられ、準備を怠らない姿勢に感服しているしだいです。今年度も出前講座を行っていきますので、ぜひお声かけいただければと思います。

さて、認知症の話題の一つに“認知症高齢者の運転”があります。実は運転行動にも認知症による特色があるのです。アルツハイマー型認知症の方は、行き先を忘れる（車での徘徊）、駐車・幅寄せが下手になる。前頭側頭葉型認知症の方は、交通ルールを無視する、わき見運転、車間距離が短くなる。血管性認知症の方は、注意散漫、ボーッととなる、運転操作が遅くなる、ということだそうです。



運転免許の返納は生活スタイルを大きく変える人生の一大事です。自分の命と他人の命を一番中心に考えて、ご家族とよく相談し行いましょう。認知症地域支援推進員も個別の相談対応で返納後の生活について共に考えていきます。お気軽にご相談ください。



福山市西南部地域包括支援センター 窓口のご案内

本センター	南松永町2丁目8-12	(084) 933-6272
サブセンター今津	今津町3丁目9-8	(084) 933-3399
サブセンター柳津	柳津町98-1	(084) 933-9898
サブセンター山南	沼隈町中山南469-3	(084) 988-1611
サブセンター沼隈	沼隈町草深1889-26	(084) 987-0555
サブセンター内海	内海町口2827	(084) 986-2400

地域包括支援センターは市の委託を受けて、中立・公平な立場で相談を受けています。

◎相談は無料です。 ◎相談に関する秘密はもらしません。

お気軽にご相談ください。